

(施策評価表67)

【施策番号IV-13-②-2】

取組みの方向性	百年の礎を築く	戦略	【戦略13】環境を豊かに ～環境意識と行動を高めていきます～	主な施策	◆環境教育を進める ～一人ひとりの行動につながる環境教育の強化～
			②県民一人ひとりの環境意識の醸成と環境活動の実践		

1 取組内容	2 主な事業	担当課	H25予算(千円) H24決算(千円)	3 平成24年度の主な成果	4 平成25年度の推進方針・推進状況	5 施策を推進する上での課題	6 今後の方向性																																	
<p>・環境センターを拠点とした様々な学習の場の提供など、教育機関や企業、NPOなども連携して、県民一人ひとりの行動に結びつく環境教育を進めます。</p>	総合交通体系整備推進事業 (うちモビリティ・マネジメント事業)	交通政策課	594 2,934	<p>・公共交通機関を利用した校外学習等への支援、自家用車からの転換を図るエコ通勤実証実験、公共交通利用促進を目的としたホームページ「くまもとよか交通Net」による情報発信を行い、一人一人の自発的な行動に結びつく取組みを推進した。</p> <p>・環境センターに32,151人が来館した。また、出前講座を74回実施し、5,033人が受講し、環境保全に関する理解を深めることができた。</p> <p>・「有明海・八代海の再生」等をテーマとした県職員等の派遣による出前講座を実施し、41校、1,782人が受講したことから、同海域の重要性について理解が広がった。</p> <p>・県・NPO等民間団体・教育関係者が連携・協働して環境教育フォーラムを開催(約200名参加)したことにより、各環境教育実施主体間のネットワーク形成につながった。</p> <p>・県内各地で「森林自然観察・体験教室」を開催し、11回356人の参加を得ることができた。</p> <p>・大津町、山江村に設置している「みどり世紀の森」で、県民参加の森づくりとして植林や下刈、間伐等に取り組み、354人が参加した。</p> <p>・森林ボランティアを行っている23団体と、県民からアイデアの提案があった19団体に対して活動助成を支援し、県民主体の水と森づくりを推進することができた。</p> <p>・県立図書館や森づくり応援フェア等において、パネル展示や体験教室を行い普及啓発が図られた。</p> <p>・森づくり活動による森林吸収量認証について、企業・団体等の14者に認証書を交付し、229.8t-CO₂/年の効果が図られた。</p> <p>・幼稚園、保育園等に対して県産木材で作った木製遊具の貸出(25施設)、木を使ったものづくり体験イベントの開催(4回)、社会教育主事等を対象にした木育インストラクター養成講座の開催(2回)等により、子どもたちに、木の良さを体感する場を提供することができた。</p> <p>・木育に関する副読本を県下の小5、中1全員に配布し、木の良さや木材利用の意義についての理解を深めることができた。</p> <p>・「学校版環境ISOコンクール」に取り組んだ結果、各学校において、家庭や地域へ取組を広げている学校の割合が、H23年度77%から、H24年度82%と増加した。</p> <p>・「水俣に学ぶ肥後っ子教室」に取り組んだ結果、学習成果を地域に発信している学校の割合が、H23年度の89%からH24年度は92%と増加した。</p>	環境センター学習相談・案内事業	環境立県推進課	1,702	<p>・交通事業者及び環境、教育部局ほか関係機関と連携した公共交通利用促進のための取組みを推進する。</p> <p>・環境教育に関する地域資源の活用及びNPO等との連携・協働による持続的な環境教育・環境保全活動の取組みの支援を進める。</p> <p>・県内各地で森林インストラクターによる「森林自然観察・体験教室」を開催し、自然の豊かさや森林の大切さを啓発していく。</p> <p>・大津町、山江村に設置している「みどり世紀の森」2箇所において植林や下刈、間伐等の森林整備活動を行い県民参加の森づくりを推進する。</p> <p>・森林ボランティアを行う団体に対して、水とみどりの森づくり支援事業による活動助成を行い団体の活動を支援する。</p> <p>・県民への啓発活動として、県立図書館や森づくり応援フェア等において、パネル展示や体験教室等を実施する。</p> <p>・企業等の森づくり活動を推進するため、「熊本県地球温暖化の防止に関する条例」で温室ガス排出量削減目標を達成する補完的手段として認められている、森づくり活動による森林吸収量認証の交付を進める。</p> <p>・子どもたちに、木のぬくもりや香りに親しむことができる環境を提供することで、木のよさを体感し、県産木材利用の意義について理解を深めてもらう。</p> <p>・「学校版環境ISOコンクール」について、児童生徒が数値目標設定に積極的に関わり、各学校や地域の特色を十分に生かす取組みを推進する。</p> <p>・「水俣に学ぶ肥後っ子教室」について、事前・事後の学習を充実させ、水俣病についての正しい理解を図るとともに、環境保全や環境問題の解決に意欲的に関わろうとする態度や能力を育成する。</p>	環境センター案内事業	環境立県推進課	1,697	<p>・過度な自家用車の使用から公共交通機関への転換を促し、県民一人ひとりの行動に結びつく環境への取組みを推進するためには、行政と関係機関の連携を図ることが必要である。</p> <p>・環境センターを中心とした教育現場における環境教育の充実のもとより、NPO等の民間団体との協働により、地域に即した環境教育を推進する必要がある。</p> <p>・森林ボランティアや漁民等、多様な主体の参加と連携による森づくり等を推進し、県民参加による森づくり気運の醸成を図ることが必要である。</p> <p>・子どもから大人までが木のぬくもりに接し、森林に親しむことにより、木の文化や森林・地球環境等に対する興味・理解の醸成を図る取り組みとして、木材の利用への理解を通じた人間形成をめざす「木育」を推進する必要がある。</p> <p>・「学校版環境ISOコンクール」は、学校と地域、関係機関との連携の強化を図る必要がある。また、学校間格差を解消する必要がある。</p> <p>・「水俣に学ぶ肥後っ子教室」について、継続的かつ計画的な指導を進めていく必要がある。</p>	環境センター運営事業	環境立県推進課	54,654 51,875	<p>・公共交通利用者数の減少に歯止めをかけ、将来にわたる公共交通の維持・確保を図る。</p> <p>・H24年度からH27年度までの環境センターの来館者数及び出前講座の受講者数が164,000人となるよう取り組んでいく。</p> <p>・森林の動きや木材の良さへの理解を促進していく。</p> <p>・H27年度までに森林ボランティアの参加者数(水とみどりの森づくり推進事業実施分)が6,400人となるよう取り組んでいく。</p> <p>・関係機関と連携しながら、「水俣に学ぶ肥後っ子教室」「学校版環境ISOコンクール」「環境教育年間指導計画の見直し」「豊かな体験活動」「各教科等における関連付けた取組み」を推進し、「環境立県くまもと」の次世代を担う人材を育成する。</p> <p>・「学校版環境ISOコンクール」について、地域や関係機関との連携により、取組みの拡大、充実を図る。また、過年度のコンクールにおいて優れた取組事例をHPや研修会等で積極的に紹介し、その普及、啓発を図り、学校間格差の解消に努める。</p> <p>・「水俣に学ぶ肥後っ子教室」について、各学校において、「目指す具体的な子どもの姿」を設定し、事業を計画し、その実現状況を実施報告において評価する。また、学校と訪問施設の連携を図るため、連絡用紙を活用した取組みの充実を図る。</p>	地域環境教育促進事業	環境立県推進課	4,062	<p>・環境センターを拠点とした様々な学習の場の提供など、教育機関や企業、NPOなども連携して、県民一人ひとりの行動に結びつく環境教育を進めます。</p>	日本一の環境教育推進プロジェクト	環境立県推進課	1,479	<p>・環境センターを拠点とした様々な学習の場の提供など、教育機関や企業、NPOなども連携して、県民一人ひとりの行動に結びつく環境教育を進めます。</p>	水とみどりの森づくり推進事業	森林保全課	38,650 33,885	<p>・環境センターを拠点とした様々な学習の場の提供など、教育機関や企業、NPOなども連携して、県民一人ひとりの行動に結びつく環境教育を進めます。</p>	くまもとの木と親しむ環境推進事業	林業振興課	17,500 13,675	<p>・環境センターを拠点とした様々な学習の場の提供など、教育機関や企業、NPOなども連携して、県民一人ひとりの行動に結びつく環境教育を進めます。</p>	環境教育推進事業	義務教育課	528 467	<p>・環境センターを拠点とした様々な学習の場の提供など、教育機関や企業、NPOなども連携して、県民一人ひとりの行動に結びつく環境教育を進めます。</p>	日本一の環境教育「水俣に学ぶ肥後っ子」推進事業	義務教育課	16,119 14,937	<p>・環境センターを拠点とした様々な学習の場の提供など、教育機関や企業、NPOなども連携して、県民一人ひとりの行動に結びつく環境教育を進めます。</p>
	主な施策のまとめ				<p>●環境センターの来館者数は32,151人。出前講座を74回実施し、5,033人が受講。</p> <p>●「有明海・八代海の再生」等をテーマとした出前講座を実施し、41校、1,782人が受講。</p> <p>●「水俣に学ぶ肥後っ子教室」に取り組んだ結果、学習成果を地域に発信している学校の割合が、H23年度の89%からH24年度は92%と増加。</p>	<p>●環境教育に関する地域資源の活用及びNPO等との連携・協働による持続的な環境教育・環境保全活動の取組みの支援を推進。</p> <p>●県内各地で森林インストラクターによる「森林自然観察・体験教室」を開催し、自然の豊かさや森林の大切さを啓発。</p> <p>●企業等の森づくり活動を推進するため、森づくり活動による森林吸収量認証の交付を推進。</p>	<p>●環境センターでの環境教育の充実と、NPO等の民間団体との協働による地域に即した環境教育の推進。</p> <p>●森林ボランティアや漁民等、多様な主体の参加と連携による森づくり等の推進と、県民参加による森づくり気運の醸成。</p>		<p>●H24年度からH27年度までの環境センターの来館者数及び出前講座の受講者数が164,000人となるよう取組みを実施。</p> <p>●森林ボランティアの参加者数が6,400人となるよう取組みを実施。</p>																															